

中川悦治家文書

(採訪時住所 和歌山県日高郡衣奈村)

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
1	慶應 1	1865	乙丑		9	吉	大地引網勘定帳	戸津井浦		横半帳	1	
2	慶應 2	1866	丙寅		4		覚(飯地引網、鯨網譲渡代銀受取等につき)	戸津井浦組頭 新助(印)、喜三郎(印)、文五郎(印)、(他6名)	酒川周藏殿	継紙	1	
3	明治12	1879			4	1	記(地引網仕込返済金35円につき)	小中村 原山三郎(印)	戸津井浦 中川多吉殿	縦紙	1	
4	明治17	1884			9	18	(金子貸渡につき証文)	ざこば 小泉国姿[印]	紀州トツイ 漁師御中	縦紙	1	
5	明治)18	1885			1	20	違約金取消證	小泉国松 代 由之助	戸津井浦 漁師總代殿	縦紙	1	

中川悦治家文書

－史料の概要と特質－

「中川悦治家文書」は、慶応元（1865）年から明治 18（1885）年までの史料 5 点によって構成される。いずれの史料にも「戸津井」「トツイ」の表記が見られ、これは日高郡衣奈村にあった戸津井浦を指し、現在は日高郡由良町の大字戸津井となっている。戸津井は、紀伊半島西岸のいくらか紀伊水道に突き出している日ノ御崎から 10 km 程度北に位置し、対岸に十九島（つるしま）があり、古くから海上交通の要衝であると同時に豊かな漁場として知られている。

慶応元年「大地引網勘定帳」（目録番号 1）は、大地引網による鮎（はまち）漁等の経営に関わる諸入用帳簿であり、他に鱒網の経営を行っていたことが慶応 2 年「覚（鮎地引網、鱒網譲渡代銀受取等につき）」（目録番号 2）に見える。

（文責 越智信也）